

20130911_戦略経営研究会_メンタルヘルス研究会_議事録

「英国に学ぶ日本のメンタルヘルス改革 ～民間活力導入でコストから戦略的投資へ～」

日時：2013年9月11日（水）19:00～21:00

場所：東京・竹橋 ちよだプラットフォームスクウェア

テーマ：「英国に学ぶ日本のメンタルヘルス改革
～民間活力導入でコストから戦略的投資へ～」

発表者：最上悠さん（精神科医）

参加者：参加者 11人（発表者を含まない）

（NPO 法人理事長、会社経営、会社員、研究員、行政書士、司法書士など）

【サマリー】

未病うつ（医学的にうつ病と診断される前の状態）や軽度のうつ病について、医療費としての負担のかかる薬物療法ではなく、対面カウンセリングやコンピュータ・カウンセリングなどのメンタルヘルスサービスにて対応すべき。

このために、民間活力を導入する。すなわち、未病うつや軽度のうつ病について医療ではなく民間にて対応し、薬物療法など医療に頼らないことで医療費負担を減らし、メンタルヘルスサービスの新市場創造を行う。

【目次】

1. うつ病の現実
うつ病の特性（最近の理解）、心の病による経済損失（年2.7兆円（2009年））など
2. 英国のメンタル政策
対面カウンセリングを行う CBT（認知行動療法）やコンピュータ・カウンセリングを行う CCBT（コンピュータ認知行動療法）の紹介など
3. 未病うつに民間サービス
 - ①フィットネス産業
 - ②健康食品産業
 - ③IT産業
 - ④観光産業
 - ⑤スパ・サービス業
 - ⑥教育産業民間サービスについて未病うつへの効果に関するエビデンスが存在する
それぞれ単体での実施だけでなく、連携での実施によりシナジー効果が期待できる

以上